

# 東京デンタルフェスティバル2021

令和3年11月14日（日）「東京デンタルフェスティバル2021」が本会とグラクソ・スミスクライン・コンシューマ・ヘルスケア・ジャパン株式会社が主催となり、開催されました。

共催は東京都、後援として公益社団法人日本歯科医師会、公益社団法人東京都歯科衛生士会、一般社団法人東京都歯科技工士会、公益社団法人東京都栄養士会、協賛には東京海上日動火災保険株式会社、損害保険ジャパン株式会社の各団体のご協力をいただきました。

今回のテーマは「若さを保つ口腔ケア～楽しく食べて、お口を整え、健康になろう～」とし、楽しみながら口腔ケアの大切さに関して理解を深め、口腔疾患の予防意識等を定着させることを目的として実施されました。

「東京デンタルフェスティバル」は、口腔の健康に関する情報を一般の方向けに、わかりやすく伝えるべく2015年から始まり、今回で7回目を迎えましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、前回に引き続きオンラインLIVE配信での開催となりました。

事前申し込み制で定員を1,500名としていました。9月1日受付開始時点から反響が大変大きく、急遽9月25日に500名増員しましたが、わずか数日で2,000名に達し、11月12日を待たずに応募締め切りとなりました。多くの方が「お口の健康」について関心を持ってくださることが伺えます。

今回も前回と同様に、講演会とシンポジウム形式のみで行なわれました。

午後2時に、フリーアナウンサーの小林奈々絵さんによる司会進行のもと、主催者として井上恵司東京都歯科医師会会長の挨拶から始まりました。

その後、東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 医歯学専攻老化制御学講座 摂食嚥下リハビリテーション学分野の戸原 玄教授により「よりよく食べて よりよく生きる」という演題で講演がありました。高齢者の肺炎の半数近くは「誤嚥」が原因といわれ、入院患者の半数に嚥下障害が、健康な高齢者でも3～5割に嚥下機能低下が見られるとし、早期から嚥下機能のトレーニングをはじめると、機能低下を防ぐ効果が高められるとのことでした。「悪くなる前に、悪くならない様に対応する」と推奨されたこのことは、う蝕治療や歯周病治療にも通ずることでありましょう。

ゲストトークでは、スポーツコメンテーター・シドニーオリンピック銅メダリストの田中雅美さんをお迎えして、「健康を保つエクササイズとお口のケア」について語っていただきました。アスリートとして活躍中に体験したお口にまつわる失敗談や、歯科治療の体験から、「歯」をケアしていくことの大切さを強調され、特にそれはトレーニングの踏ん張りに関与し、勝利につながる旨の説明がなされました。そして肩甲骨のストレッチになるような、おすすめのエクササイズの紹介がありました。



井上恵司 東京都歯科医師会会長



東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 医歯学専攻 老化制御学講座 摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授 戸原 玄 先生



スポーツコメンテーター・シドニーオリンピック銅メダリスト  
田中雅美さん

続いて、講演いただいた戸原教授、田中さんと高品和哉公衆衛生 I 担当理事、末田麻由美公衆衛生 II 担当理事の4名によるシンポジウムが行なわれました。タイトルと同様のテーマで、事前に寄せられたら視聴者からのさ

まざまな質問に回答する形で進行しました。シンポジストの丁寧な対応が印象的でありました。

最後にアンケートへの協力のお願いと景品の紹介があり、今回は Amazon ギフト券が50名様へ、近江牛ギフト券が2名様に当選となりました。LIVE 配信らしい、またテーマにも沿った選定であると感じられ、近江牛がおいしく戴かれることに思いを馳せながら終演となりました。

今回のフェスティバルの開催にあたり、企画運営に関与された多くの皆様に心より感謝申し上げます。また、令和4年度も今回と同様にオンライン LIVE 配信を予定しておりますので、ぜひご参加いただきたく、よろしくお願いいたします。

広報常任委員会委員 中村有博  
森 靖



シンポジウムの様子



左から司会の小林奈々絵さん、田中雅美さん、戸原 玄教授、末田麻由美公衆衛生 II 担当理事、高品和哉公衆衛生 I 担当理事

※巻頭カラービュー参照